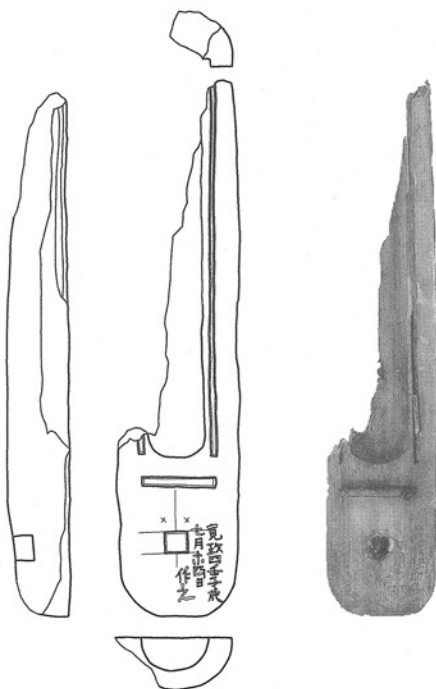


(部分)



新たに釈読された陸奥国荷札木簡

『平城宮木簡三』に所収の三〇五八号木簡で、興味深い文字が判読されたので紹介する。某郡の贅荷札で、国郡名は読めていなかった。保存処理・赤外線テレビカメラの活用により、釈読が進んだ。

国名の一文字目はこざと偏の文字で、旁には四本ほどの横画がある。郡名は「石取」か「名取」。『同四』四〇二四号木簡の「陸奥」字などと比較し「陸奥国名取郡」と確認した。また「御贅」の上は「布」と判読され、郷名でなく品名であろう。昆布と推測されるがその種類は不明。新釈文は以下の通り。

「陸奥国名取郡□□布御贅壹籠」

天平元年

〓十一月十五日

319×25×6 031



(馬場 基)